

# 全国一般全国協

2012年11月12日 114  
**全国一般労働組合全国協議会**  
 編集発行人 渡辺 啓 二  
 東京都港区新橋5-17-7 小林ビル  
 TEL03-3434-1236 FAX03-3433-0334  
 URL: http://www.nugw.jp/  
 Email: nugw@nugw.jp

## 秋年末闘争に全力をあげ、格差と貧困拡大を許さず 生活と権利、いのちと健康を守る闘いを！

中央執行委員長 平賀雄次郎

### 混迷深める世界情勢

接戦を伝えられたアメリカ大統領選挙は、オバマ再選の結果となった。アメリカは、自由競争による一部の富裕層より格差の拡大に反対する、「ましな」選択をした。若者のオバマ支持が多かった事実は、社会に将来についての深刻な危機感を示しているといえる。

そして5年に一度の中国共産党大会が開催され10年ぶりに指導部が交代した。また、11月韓国大統領選挙も重なり、今後の世界の政治経済の枠組みが変化する2012年秋年末、オバマ再選直後の年末から2013年初頭に迎えるアメリカの財政危機「「財政の崖」問題の深刻化が伝えられる。

そしてヨーロッパ経済の揺れと停滞が加速し、中東の引き続く混乱、東アジアの再編をめぐる軌跡が拡大する。

### 野田政権の規制緩和・TPP参加を許さな

こうした中で、日本の政治・経済は民主党政権の混乱と無力に翻弄され迷走を深める一方だ。この停滞を国家主義ナシヨナリズム、排外主義を鼓舞して乗り切ろうとする動きは急であり、資本経営も再び原発巨大エネルギー政策、規制緩和、新自由主義経済への圧力を強めている。日本経団連は9月、「規制改革要望」を示し、よりいっその労働分野の規制緩和やTPPへの参加を表明した。

**企業を超えた社会的運動として13春闘へ**  
 2012秋年末闘争を闘う私たちは、闘いの中から来春闘へ向けて組織的準備を整え運動・要求課題を組合員全体のものへと深めていく必要がある。格差と貧困拡大の深刻な事態を直視し、生活と権利、いのちと健康を

### 守る運動と闘いを準備しよう。

消費税増税が迫り、環境税、復興所得税、復興住民税の新設増税も連続する。年金保険の負担増が続く。雇用の非正規化が進む中で、低賃金・長時間労働が常態化し労働者は病み、メンタル障害が増え続ける。一人ひとりの労働者の生活・権利を大切に職場から闘う力を組織する秋(とき)である。

産業・企業の整理の圧力も強まり、人員整理、倒産も増えている。地域の共闘をよりいっそう強め社会的反撃を準備しよう。

不十分な結果に終わつたこの間の労働者派遣法、有期契約・労働契約法、高齢者雇用安定法の改定の限界を踏まえつつ、闘いの武器に鍛え上げる現実的活用を踏み出さなければならぬ。パートタイム労働法の改正も射程

に入り、最賃闘争、公契約条例制定など雇用・労働条件への社会的規制を強める必要性はかつてなく強いものがある。

競争と企業利益優先の象徴であった原発エネルギー社会への労働現場からの反撃をめぐり、被災被災地とつながった。被災労働者を考えるネットワークが、労働組合・労働安全諸団体、市民運動など広範な領域を包みスタート



した。企業を超えた社会的運動として13春闘をはじめ民間中小労働運動の発展を追求しよう。

### お知らせ

- 11月23.~24日 岩国行動2012
- 12月15日(土)全労協 13春闘討論集会 13:30~
- 新橋交通ビル地下ホール
- 1月27日(日) 全国協・第18回各県代表者会議 12:00~
- 港勤労福祉会館(予定)
- \*前日1月26日(土)の午後は各分科会を予定

10・13 さようなら原発集会在  
in 日比谷に六千五百人

# さようなら原発 1000万人アクション 全力で1000万署名を集めよう!



『集まって道を作り、希望を持って生きよう!』

1000万人アクション主催で、「10・13 さようなら原発集会in日比谷」が、野外音楽堂で開催された。参加6500人は、再稼働強行はじめ原発推進派の巻き返しに、強い危機感を抱いて集まった。

初めに、鎌田慧さんが代表挨拶した。JA(農協)グループが、10月定期大会で脱原発の運動方針を採択したことに触れて、「この命を清算する農業者の決意に心え、私たちは今こそ原発を叩き潰そう」と訴えた。福島現地からは、「子どもたちを放射能から守る福島ネットワーク」の森園かずえさんが発言した。「福島では、蚊や蛾などの小動物が去年に比べてずっと少なかった。トンボは1匹しか目にしなかった」と放射能汚染の実態を明らかにして

訴えた。

除染危険手当の「中抜き」許さず、  
全額を獲得し成果を拡大しよう!

福島第一原発周辺の警戒区域など(除染特別地域)では、除染作業を行う労働者に国の指導で、基本賃金とは別に特殊勤務手当(除染危険手当)が支給されることとなっている。これは被曝の危険性や精神的労苦に対し国税で支払うものである。しかしセネコンを頂点とする多重請負構造の中で、個々の労働者には正当に支給されていないのが実態だ。

除染特別区域である楢葉町で先行除染に従事していた労働者たちが、この特殊勤務手当のことを知ったのは8月下旬であった。二次下請や三次下請会社の採用時にそんな説明は一切なかった。その挙句、約束した日福島原発訴訟団・ふくしま集団疎開裁判、「子ども・被災者支援法」の重要性を訴えた。

当額を最低賃金にまで減額し更に会社持ちだった宿泊費を天引きすると言ってきた。特殊勤務手当を支給していると後付けで説明し、環境省に報告するためだ。A社の除染作業員たち(7月9月の有期契約)はこれに怒り、会社側に説明を求め集団交渉を行ったが埒が明かない。「そんな金は上からもらっていない」二次下請会社はこう言って聞き直った。

4人の労働者は全国一般いわき自由労働組合に加入し、納得いくまで闘うことを決意した。そして、特殊勤務手当の全額支払いを求め、必要があれば上部賃本と闘う。特殊勤務手当を全ての除染作業労働者が必ず受け取れるようにする。危険な被曝労働にもかかわらず交付されていない放射線管理手帳の交付を求め

る。などの方針を確認した。

二次下請A社(福島)との団体交渉を3回にわたり行いが進展はない。会社いわく「上に言ってくれ」。

全国一般全国協本部から一次下請会社には団交申し入れ、元請セネコンには指導申し入れを行い、全国協本部で団交を行っている。一次下請工社(東京)との団交では、全ての責任を下に押し付ける姿勢だ。「請負契約時に手当の説明はしている」「危険手当は支払っている。日当は最賃で問題はない」と。労働者たちは一歩も引き下がらない。「セネコンとも闘う。国とも交渉する」と。この断固たる姿勢によって特殊勤務手当の「中抜き」を許さず全額獲得を実現をめざす。



全国一般と被曝労働ネットに結集する仲間たちの力強い連帯の成果でもある。この成果を、福島第一原発廃炉に向けた労働も含めて被曝労働を強いられる労働者全体に拡げていかなければならない。そして山積する被曝労働問題への取り組みを強化しなければならぬ。

(中央執行委員 佐藤隆)

### 新刊紹介

『原発事故と被曝労働』を読んでみよう!

「3・11」後の被曝労働の実態! 被ばく労働を考えるネットワーク編 / 三一書房 / 10月刊 / 定価1050円



# 第52回定期大会開催

## 宮城合同労組

さる9月30日、宮城合同  
 労組は52回大会を開催し、  
 田邊副委員長が3・11以後  
 1年半の地域活動の報告を  
 行った。  
 震災可燃ガレキは仮設焼  
 却プラントを1年延長使用  
 すれば県内処理できること、

# 第17回定期大会

## ユニオン北九州

10月7日、ユニオン北九  
 州は、第17回定期大会を開



催しました。  
 新たに結集した分会・仲  
 間を含め、61名が参加し、  
 闘いの報告を受け、今後の  
 活動方針について協議しま  
 した。  
 今年の具体的な方針とし  
 て、脱原発・福島連帯、11  
 月岩国集会への結集、NP  
 O労働相談センターへの取  
 り組み等が提起されました。  
 また、組織的な方針とし  
 て、代行主義を排して全員  
 で闘う原点の再確認と、労  
 働講座の開催が確認され、  
 新任を含め10名の執行部を  
 選出しました。

# 9・30第15回定期大会

## 全国一般神奈川

国と東電に県内農林水産業  
 の放射能被害の責任をとら  
 せること、3・11地震津波  
 と4.7余震で冷却電源が切断  
 された女川原発再稼働を絶  
 対阻止すること等を確認し  
 て新たな年度の闘いに向かっ  
 た。

9月30日、全国一般神奈  
 川はLプラザに、組合員と  
 来賓の方々約70人が参集し  
 て、第15回定期大会を開催  
 しました。東芝の少数組合  
 差別や郵政座間ユウメイト  
 雇い止めへの闘いをほしめ、  
 非正規労働者の雇用・権利  
 を守る闘いなど、運動の成  
 果と課題を確認しました。

# 全国協第22回大会に参加して

## 徳島地区協議会・葉田康代



東横イン労組発足  
 以来、地元以外の規  
 模の大きな行事に参  
 加させていた多くの  
 は初めてでしたので、  
 かなりの緊張があり  
 ました。

まず、全国から様々  
 な職種の労組の方々  
 が参加されている事  
 に驚きました。当た  
 り前ですが、被災し  
 早期復興を目指して  
 いる東北から、オス  
 プレイ問題で揺れる  
 岩国・沖縄までと、  
 日本中の労働者の抱  
 える問題の多さ・大  
 きさに、今更ながら労使双  
 方の意識の隔たりを感じま  
 した。  
 製紙業・介護職・運送業  
 やJAL等々、どの職種も  
 厳しい経済情勢下に更に劣  
 悪な労働環境に置かれてい  
 るとの話でした。マスコミ  
 等と取り上げられているユー  
 スで理解しているつもりで  
 したが、それはほんの一部  
 で、現状はもっと厳しく差  
 し迫ったものであります。  
 ただただ聞き入るだけの自  
 分の勉強不足を痛感しまし  
 た。  
 私達は、あらゆる労働環  
 境の現状を知り、自分達の

全国一般神奈川では、この  
 1年で労働相談から約30件  
 の取組みを行い、すでに個  
 人組合員が組織人員の6割  
 となつています。「支部」  
 主体の運営から、闘う個人  
 の連合体への組織再編を模  
 索する中、今大会では、大  
 勢の新規組合員と課題・運  
 動の交流を行うことができ  
 ました。



9.30横浜Lプラザ 全国一般神奈川定期大会

職場における諸問題につい  
 ても他の労組の方々に知っ  
 ていただく事で、より多  
 くの労働問題を考え改善・  
 解決する道を進んで行き  
 たいと思います。

